

第3回杉並区における地上部街路に関する話し合いの会 ご意見カード

	<p>司会者がもっと議事進行にしっかりしてほしい。</p> <p>質問者が（構成員）と都の質疑応答がかみあわずおかしい。</p> <p>知事と都職員がかみあっていないので事業をやっていくとは理解できない。</p> <p>古い街並みをこわして新しい町をつくってはたして住民にとって住みよい町になるのか。古い町を大切に育ててきた住民の気持ちをふみにじるのは許せない。</p>
	<p>小口課長は構成員であって事務局ではない。議事要旨に載せた載せないの説明を出来る立場にはない。事務局の上司という立場を利用して二つの立場を使い分けている。けしからん事である。</p> <p>小口課長の説明は日本語ではない。ふつうの人の分る様に説明すべきである。みえみえなウソはつくな。</p> <p>司会者は存在するのか？何を仕切っているのか？</p> <p>小口課長は12月22日の知事発言には一言もふれていない。</p>
	<p>知事が知っているとか知らないとか、原本があるとかないとか。重箱のスキをつつくような質問ばかりで議論になっていません。同じ意見をくり返すだけの議論は無意味です。</p>
	<p>司会者が機能してない。</p>
	<p>司会者は役割を果たしていない。</p> <p>小口さんの回答は理解し難い。正しい日本語を使って下さい。空々しいむなし会議ですね。</p> <p>石原都知事は記者会見で「問題があるならもう一回現場に行って確かめてきますけれども。」と発言されています。是非現場に来て頂き住民に説明して欲しい。</p> <p>小口さん、議長を通して話した方がいいと思います。「勝手に話してる」って印象です。</p>
	<p>知事の議会発言（外環ノ2）資料を出せば〇〇さんも納得するのでは？</p> <p>知事が実施せよと言ったとしても、反対者は反対のための理屈を述べるだけ。広域的な道路であればその必要性をしっかりと説明し理解を得るべきである。</p> <p>まちづくり（PI）で都市計画は消せないと思う。</p> <p>40m幅員？→27m（明治通り）幅員の検討。又は、16m幅員の検討を行う。補助線街路の検証をしてもよいのでは？</p>
	<p>都知事が会見で「必要があれば行く」と発言されているのですから、司会者は「参加を要請してみる」と言うべきではないでしょうか。</p> <p>司会者の「組織内部のことでありますので確認したかどうかは言えない」という発言は民主主義的な話し合いになりません。</p>

	<p>石原都知事は知っているという発言があったが、定例記者会見を見た限りでは知っているとは思えない。都として一致した見解が必要と思う。</p> <p>計画が残っているということで、話し合いの会が維持されているが、計画そのものを廃止すべき。地上部に道路を作るために莫大な費用をかけて立ちのきをするのは不可能。話し合いの会そのものがなくなる。</p> <p>構成員は一応選ばれた代表としてもっと意見を述べて欲しい。</p>
	<p>〇〇さん、〇〇さんだけでなく他の構成員の方の意見も聞きたかった。順に発言してもらおうなど、工夫して欲しい。</p> <p>何が目的の話し合いかわからない会。</p> <p>外環が 2020 年までに完成することになったので、この話し合いも早く結論づけてほしい。次第の時間配分を考えてほしい。</p>
	<p>「外環の 2」事業計画は関係する地元住民に多大な犠牲を強いることになるのは明らかです。しかし、後世の人達からきっと感謝されるであろう来るべき首都圏大震災に備え、山の手の一隅を担うこの地の道路を整備しておく事は必要。関東大震災の後、後藤新平の東京の道路整備計画に協力した当時の人たちに倣い、私達も「外環の 2」計画に協力する姿勢に舵を切るときに来ているのでは。</p>
	<p>「外環の 2」の必要性として南北道の交通緩和が挙げられる。しかし現在既存の環状 7 号 8 号のほかに調布・保谷線幅 36m（都市計画道 3.2.6 号線）が新たに着工、一部供用されており、「外環の 2」の計画は環状 8 号とこの調布・保谷線の間を並行し、さらに同じ様な道路を敷くことになる。将来の交通量に一般と減少が予測される中、40 年前の計画のまま効果の重複する道路を何本も計画することの無理、ムダは明らかである。</p> <p>外環道が地下化した時点でその付属道である「外環の 2」の大半の根拠は失われており、都市計画道路としてはあわせて廃止するべきであったと思う。</p>
	<p>石原都知事の発言「外環は地下になったんだから、地上は住民の立ちのきもあるのでできない。」そのとおりだと思います。それを小口課長は「外環の 2 を知事は承知している。」と言いきって逃げているのはおかしいと思います。公の場で知事に確認し、間違いならそれを認めてもらうことが必要。「外環の 2」はいきていない。計画を廃止すべきだと思います。外環そのものについてもそのお金は震災の被災者に回すべき。</p>

	<p>11月28日に練馬区で行われた話し合いの会で住民の意見を十分に聞かず終了。ご意見カードに記入すれば回答すると約束したにもかかわらず、後日返答を求めたところ、課長は「そんな約束はしていない」と未だに回答せず住民との信頼はなくなった。回答はきちんとすべき。</p> <p>「構成員からのご意見カード」は行政の都合の良い意見だけである。全く公正さに欠ける。</p> <p>知事が「外環の2」に関して承知しているとは全く事実と反する。昨年の暮れの12/22の知事会見を見ると解るように「外環の2なんて知らない」だった。課長はウソも休み休み言え（参考資料4にもあるぞ）</p> <p>司会者は話し合いが盛り上がっている時じゃまをするな。貴重な意見を聞きたいよ。</p> <p>資料1-3 データ集は性格性に欠ける（大泉も同様）1例を挙げれば環境＝緑のネットワークづくり「グリーンロード・ネットワーク」の形成充実とあり、表参道までであるが、外環で八の釜、石神井公園、善福寺 etc 破壊しておきながらネットワークを作れるという根拠を示せ。情報は正しいものを提供せよ。</p>
	<p>石原都知事が外環の2計画の事を承知しているというのであれば12月22日の記者会見で何故あのような答弁をしたのか。是非石原都知事に現地視察していただき、地域住民と意見交換をしていただきたい。</p> <p>道路が狭く歩道やバス交通に必要な道路幅が必要であれば外環の2の様な大型道路の計画が必要なのではなく、今ある道路の拡幅をすれば十分である。</p>
	<p>資料1-3について、本来の外環ノ2の設置理由、目的はなくなっているのに「計画があるから造りたい、そのための後づけの理由を裏付けるための資料としてしか理解できない。外環ノ2設置理由、目的のそもそも論の破綻を認めているのでしょうか？</p>
	<p>知事は地上部には道路計画はなくなったと認識している。つまり計画はなくなったと言っているのだ。これに対し職員は職責を果たしていないということではないか。どう言い訳しても議長の回答は無理である。通学路が大変ならば道路拡張すればいいのでは、わざわざ外環の2を造る必要はない。</p> <p>また、青梅街道ICは造らなければいいことである。</p> <p>都市のPIにおいては先に高速道路の話しをし、その後外環の2の話しをするという約束だったにもかかわらず、高速道路の話しだけで途中でPIを打ち切ってしまったので、議事録にないのは当然である。話しを途中で打ち切ったために今日のような混乱を招いているだけ。本来外環の2についても話しをするはずだったのである。</p> <p>外環の2は幹線道路といいますが、幹線道路と行ってもピンからキリまでありますので、どの程度の幹線道路なのでしょう。</p> <p>都知事は議会の承認を待って発言する必要はない。議会から独立した存在。</p>

	<p>都知事は外環 2 について認識はしているが“確認したかどうか言えない”のでは、構成員、住民に説明していることにならない。話し合いの会は住民からの疑問に答え共通認識を築く場ではないのか。都知事の認識は一構成員の関心事ではなく地域住民の関心事である。</p> <p>反対の意見ばかりで賛成の意見がつぶされている。との構成員の意見がありますが、真剣な質問に対して回答がなされない為に同じ事の繰り返しになっているだけである。そういませんか？</p> <p>毎回傍聴者の座席数が不足しています。ぜひ広い会場の用意をお願いします。</p>
	<p>話し合いの場にどうしたら参加できるのですか？</p> <p>細かい事がさっぱりわからない。予算はどうなっているか等</p>
	<p>知事の認識も「道路計画として今残っているの？」といているので中止にすべきだと考えます。</p> <p>「道路つくる」ありきで都が押し進めるからご意見カードの意見質問事項のような事ができているのではないか。話し合いになっていない。</p> <p>都はさがって構成員のみで話し合いをした方がいいのではないか。</p> <p>今は時代も変わってきている中で税金をどう使うかを真剣に考えてください。</p> <p>東北大地震の復興にお金を回すことを考えてほしい。</p> <p>エコを重視されている社会です。大気汚染、騒音、振動、水脈などの環境破壊を生じる事は明らか。外環の 2 の建設はもうやめるべきではないか。今ではバランスのとれた街並みになっている中で巨大道路はいらない。</p> <p>実質討議に入れないのは質問者に納得してもらえない回答をしていないからだ。</p>
	<p>大深度地下 40m の道路が破壊する自然は恐怖です。子孫へよい社会自然を残せるように真剣にお考え下さい。</p>
	<p>都市計画決定時の地図を提示せよ。</p> <p>構成員提出の資料についてはその構成員の説明をお願いします。</p>
	<p>行政の手続き上はどうしても外環の 2 の計画は残っているのかもしれないが、立ち退きが無理だから外環本線を地下化した以上、外環の 2 の計画も手続きを経て廃止すればいいだけのこと。一部についてはすでに廃止しているのだからそれと同じ。道路の整備が必要なら「外環の 2」でゴリ押しするのではなく、現状に合う別の道路計画を新たに立案すればよい。何十年も前の計画をそのまま実施しようとするのは横着すぎる。</p> <p>「茶の間を土足でまたぐことはしないから安心して下さい」という知事の発言、これは本線についてであって外環の 2 についてではないという説明はもし、知事がそういうつもりで言っているのだとしたら、都民を侮りあざむくものである。知時は本線についても、外環の 2 についても言葉通り地上には道路は作らないという意味で発言しているのだとしたら、そうやって住民を安心させた以上（都知事なのだから当然都道について言っていると考えるのが自然だが）たとえ計画上は外環の 2 が残っていると看做しても、それを錦の御旗にして「外</p>

	<p>環の2」を事業化しようとするのは物の道理としてどうしても無理がある。小口さんの言うことは詭弁というか強弁といわれる類のこととしかうけとめられない。</p> <p>出発点でボタンが掛け違ってしまったのだから白紙に戻して考えるべきだ。知事が100%把握していることは無理かもしれないが、広告塔であることは確かであり、広告塔が地上に道は作らないとアドバルーンをあげた以上はそれを翻すことはやめてほしい。</p> <p>司会者、不適任、人選を考え直すべきです。</p>
	<p>石原知事の会見ビデオを見ましたがどう考えても地上はなくなって地下になったと思っておられると思います。議長さんたちは知事に対して説明していませんか？それなのになぜ計画を進めるのかわかりません。</p> <p>〇〇さんから要求された「知事の真意の確認」「H15以降外環の2が残っているという公式文書」が提出できないのは不存在ということなのでしょうか。はっきりしてほしい。</p> <p>〇〇さんの要求に対して「原本」についての答弁をあわせ、はぐらかしているばかりで、大変不誠実だと思います。</p> <p>住民相互の意見交換を活発にできるように進行して欲しい。司会は発言の邪魔ばかりしていない方がまし。</p> <p>毎回ご意見カードを書いているのですから傍聴者の意見質問に対しても回答すべきです。</p>
	<p>19:20頃ご意見カードのやりとりで小口課長の「もし必要であれば」は都側が判断することではなく、〇〇氏が必要と思っていれば「必要」であるということ。</p> <p>19:50頃知事への確認「組織内で控えさせてもらおう」という発言は回答拒否である。情報公開請求すれば出すのか？</p> <p>資料1-3「杉並地域に関する現状・課題データ集」は道路をつくろうという意図の地ならし誘導の資料にしか思えない。もっとオープンに道路を前提とせず、まちづくりに自由な意見を出し合う場にするには、一旦この計画を棚上げて、忘れて、話し合うべきである。</p> <p>それが解決しない限り、このような閉塞状態が続く。都の正しい判断を望む。「横暴」のままでは前へ進まない。勝手に強引に他人の土地を奪う立場と奪われる立場の違いを認識すべきである。</p>
	<p>仮に外環本線および外環2の建設を強行したとしても完成は20~30年以上も先の筈。先日発表された50年後の日本人の人口は70%程度でしかも老人社会。従って交通量は激減。こんな状況が見えているのに1メートル当たり8000万~1億円の巨費を投じて道路を作るのは間違い。良識有るなら増税する前にこんな公共投資はやめるのがスジ。孫たちにこんなツケ廻しするのはやめようよ。</p>

	<p>東京都知事が「外環の2」を知らないばかりか、自身の配下（都）の言い出したPIについても「PI」って何よと言出し、日本語で言ってくれと言った。無知極まりない発言は暴論として日々沿線住民に驚愕が広がっている。“PI”などは元々住民の中には一知事半解の言葉として行政が使うべきではないという批判が多かったのである。「外環」に関する知事の病的無知が明らかになってしまったのである。その上で「ジャンクション周辺では多少被害はあるだろうが」という言葉があり（2011.12.22 記者会見）住民の中には知事の病理学的診断を求める声あがりつつある。そもそも自ら（都）が言い出した「PI」を知らないものが事柄の正確な理解を出来るはずもない。</p>
	<p>「石原発言」がどうか？は外環2の問題をどうするかの基本です。この点が不明なままでは建設的議論にならない。 都の説明が不明確で分かりにくい。 外環2の建設は考え直すべきである。</p>
	<p>司会者が無能のため確認事項などが会議としてはっきりしないままとなっている。 発言者への指名が不明確</p>
	<p>地元住民の方々は（外環その2）は地下に本線が入ったことで白紙になったものと思っています。少数の人の意見を聞くだけでなく、住民アンケートをとってください。 司会は不要</p>
	<p>議論を聞いていて都の姿勢は誠実さに欠けていると感じました。 知事と都市整備部の意見の違いについて、知事の真意を確認されているのですからそれをしっかり行うこと。 知事が現場に赴くことも意思として示している事から知事が現場を視察することを実践すべきです。 この会は外環の2を実施するためのものかどうか改めて確認します。</p>
	<p>小口課長は会の構成員であるはずで。事務局ですか？ 誠意のない回答や態度（ニヒリズムさえ感じます）が本当の民主的会議であるべきものを台無しにしています。コスト意識を持ってください。裸の議論に加われ。 資料番号はシリアルに行え（早急化）次回までに。 石原知事を含めた会の場を計画せよ！！ （現地を見ると言っている以上そのくらいは出来るはず） 地上部街路を作ることになるなら地下に予定変更した本線を地上へ。税金のむだはやめよ！！</p>

平成15年3月の都知事による方針発表は、あきらかに青梅街道以南の外環の2が存在しない内容である。それがなぜ復活しているのか。計画の廃止手続きとはどのようなものかを外環の2を廃止した大泉北部のケースを基に示してほしい。

〇〇構成員の質問が終わらないのは、都が明解な回答をしないためであり、その責任は、ひとえに都が負うものである。

前回読み上げた構成員のカードに「賛成の意見がつぶされている」との意見があったが、何を根拠にしているのかを明らかせよ。発言は挙手すればできるはず。この声への都の「自由に意見を出しあえる環境」にするとの回答は、全く事実と違うもの。訂正を求める。